

社会資本総合整備計画

事後評価書

令和05年08月31日

計画の名称	大阪狭山市水とみどりのネットワーク整備事業													
計画の期間	平成30年度～令和04年度（5年間）										重点配分対象の該当			
交付対象	大阪狭山市													
計画の目標	現在、狭山池公園を中心とした歩行者ネットワークは、狭山池公園南側の府道により公園と緑道が分断されており歩行者は安全確保のため、公園と緑道をかなり大きく迂回をして行き来しているような状況であり、子育て世代や高齢者の方に大きな負担をかけている。今回アンダーパスを整備し公園と緑道が一体となった歩行者ルートが再編・確保されることで、一般の利用者を含め、子育て世代や高齢者の方に公園や緑道をこれまで以上に安全で快適に利用してもらうとともに、市内の公園やみどりの魅力向上と健康増進を図る。 また、狭山池公園北側に位置する副池オアシス公園と西新町公園は、本市みどりの基本計画の先導的・重点的な取組として掲げる「パークマネジメントによる狭山池周辺の賑わいづくり」の一部の公園であるとともに、歩行者ネットワークのルートの一部として重要な箇所となっている。西新町公園は緑が多く、多くの人が休息の場として活用をしているが、現在公園機能の一部を分断する形で私有地が隣接しているため、当該土地の取得をし、歩行者ネットワークとしての機能向上並びに多世代にわたる賑わいづくりを目的とした公園機能の再整備を図る。													
全体事業費（百万円）	合計（A＋B＋C＋D）		247	A	247	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C／（A＋B＋C＋D）	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		(H30当初)	(R02末)	(R04末)
1	新たな人の流れを生み出すため、現況の公園・緑道等の再整備を行う。（みどりの基本計画にて先導的・重点的な取組として記載）			
	再整備を実施した公園において、公園の利用実態調査を実施し、利用者数の増加率5%増をめざす。	100%	100%	105%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-	避難確保計画の策定		避難行動要支援者名簿の提供	

A 基幹事業																			
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
都市公園・緑地等事業	A12-001	公園	一般	大阪狭山市	直接	大阪狭山市	-	-	都市公園ストック再編事業（狭山池公園、西除川緑道、西新町公園）	測量実施設計、用地取得、アンダーパス整備	大阪狭山市	■					17		-
	A12-002	公園	一般	大阪狭山市	直接	大阪狭山市	-	-	都市公園等事業（狭山池、副池オアシス公園、西新町公園、西除川緑道）	アンダーパス整備（L=120m）、公園施設等整備（４公園）	大阪狭山市		■	■	■	■	230		-
											小計						247		
											合計						247		

事後評価	
○ 事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
市内部で事後評価を実施	令和5年8月
	公表の方法
	ホームページで公表
○ 事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	整備を実施した公園において、公園の利用実態調査を実施し、利用者数の増加が見られた。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	令和元年度にアンダーパスを整備し、狭山池公園利用者のアクセス向上が図れた。 また、令和2年度以降園路舗装やトイレ改修、設置、管理事務所の改修を行い、狭山池公園、副池オアシス公園利用者の利便性向上が図れた。
○ 特記事項（今後の方針等）	

○ 目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値 / 実績値		目標値と実績値に差が出た要因
1			
	最 終 目標値	105%	当初の見込み以上に好評いただき、最終目標値を上回ることとなった。
	最 終 実績値	116%	